

# バルタザール・コルマウクル監督来日 広島国際映画祭ジャパンプレミア上映決定

## 撮影地・日本での公開を前に

バルタザール・コルマウクル監督の来日が決定！

広島国際映画祭2024で本作上映&トークイベントに登壇！

2020年と1957年の二つの時代にまたがる恋を描いた本作。作品の中では重要な側面として、原爆が及ぼす影響や被爆者についての描写が含まれており、日本公開の検討中から、制作・配給サイドとして、大切な舞台の一つとなる広島で全国公開に先駆け上映したいと希望していた。

11月23日(土)に広島国際映画祭2024の「ヒロシマEYE」にの作品の1つとして上映されることが決定。

コルマウクル監督が上映後のトークイベントに登壇し本作へ込められた想い、そして撮影地でもある広島についても語る予定。

コルマウクル監督は広島を訪れた時のことを振り返り、「広島を訪れることは、衝撃的な体験でした。広島で起こった恐ろしい出来事について、私はずっと考えてきました。資料館や平和記念公園を見学し、目の当たりにし、人々がどう向き合ってきたかを知ったことは大変な衝撃でした。

それは、きっと一生続くことでしょう。」と話している。また、実際に本作のロケで訪問した際に、「とても印象的だったのは、滞在した住宅は伝統的な日本家屋で、その家主の女性が、自身の母親は「被爆者」であるという話を聞かせてくれたことです。

彼女は私たちに家族の写真を見せ、原爆が自分たちにどのような影響を与えたかを話してくれました。それはとても心が打たれるもので、広島に暮らす人々にとって、原爆投下がどれほど最近のことであるか、どれほどリアリティのあることなのかを、より深く理解することができました。」と、語り作品に大きな影響を及ぼしたことを明かしている。

広島国際映画祭は「ポジティブな力を持つ作品を世界中から集めた映画祭」をテーマに企画し、3日間で10カ国・地域の25作品を上映。プログラムは主に5種類に分類され、最前線で活躍する国内外の映画監督を招へいする「特別上映作品」、「ポジティブな力を持つ作品」を世界中から集めて審査する「国際短編映画コンペティション」、広島にゆかりのある映画人や広島で撮影された映像作品を上映する「ヒロシマEYE」、監督や映画関係者によるトークイベント「ティーチイン」、映画監督が講師を務める「ワークショップ」など

## 【広島国際映画祭2024】

公式サイト：<https://hiff.jp/>

・日時：2024年11月22日(金)～11月24日(日)

・会場：NTTクレドホール、広島市映像文化ライブラリー